取扱説明書

ダイキンスポットエアコン クリスプ

〈クリスプ《1体形》〉

掲載機種

SUASP1BS	SUBSP1BS	SUASSP2A
SUASP1BT	SUBSP1BT	SUASP2AU
SUASP1CS	SUBSP1CS	SUASP3AU
SUASP1CT	SUBSP1CT	SUBSP2AU
SUASSP1BS		SUBSP3AU
SUASSP1BT		SUASSP2B
SUASSP1CS		SUASP2BU
SUASSP1CT		SUBSP2BU

- このたびはダイキンエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになった後、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
  お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- 保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で 触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ず電源プラグを 抜いてください。

⚠警告 使用上の注意事項

●長時間冷風を体に直接当てない、冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

禁止

●分解や修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●改造は絶対にしない
事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも有料修理になります。

禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。

禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●電源プラグの抜き差しでエアコンの運転や停止をしない
火災や水もれの原因になります。
また、運転操作ツマミが「停止」になっていない場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。

禁止

●電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない
重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると破損して感電・火災の原因になります。

禁止

●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・タコ足配線をしない
感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

禁止

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

●電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように確実に差し込む
感電や火災の原因になります。

⚠警告 使用上の注意事項

●**電気工事が必要な場合は、お買上げの販売店に依頼する**

配線などに不備があると、
漏電・火災の原因になります。

●**洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する**

運転をすると、故障や感電・火災などの
原因になります。

●**エアコン内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する**

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、
樹脂部分が破損したり水もれなどの原因に
なります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると
故障や発煙・発火の原因になります。

⚠注意 使用上の注意事項

●**特しゅ用途には使用しない**

禁止

精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。

●**エアコンの上に乗ったり、物を載せたりしない**

禁止

落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。

●**エアコンの真下や近くにぬれて困るものは置かない**

禁止

運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口のつまりで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。

●**吹出ダクトの方向変換は、たたいたり強く曲げたりしない**

禁止

脱落し、けがの原因になることがあります。

●**エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない**

禁止

燃焼器具の不完全燃焼の原因に
なることがあります。

●**エアコンの近くで暖房器具を使わない**

禁止

暖房器具の熱により吸込グリルなどが
変形することがあります。

●**動植物に直接風を当てない**

禁止

動植物に悪影響をおよぼす原因に
なることがあります。

●**吹出口の近くにスプレー缶などを置かない**

禁止

凝縮器からの温風によりスプレー缶などが
爆発するおそれがあります。

●**エアコンで遊ばせない**

禁止

誤った操作による体調悪化や
健康障害の原因になることがあります。

●**エアコンの吸込口やアルミフィンにさわらない**

禁止

けがの原因になることがあります。

●**エアコンの吹出口を取り外さない**

禁止

高速で回転するファンにより、けがの原因に
なることがあります。

●**吸込口や吹出口をふさがない**

禁止

能力低下や故障の原因になることがあります。

●**傾斜部や凸凹部に設置しない**

禁止

転倒によるけがや水もれの原因になることが
あります。
必ず水平な場所に設置してください。

●**移動時傾けない**

禁止

転倒によるけがや水もれの原因になることが
あります。

●**運転中は移動しない**

禁止

水もれや感電の原因になることがあります。

●**エアコンの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない**

禁止

落ち葉などから侵入した小動物が、
内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になることがあります。

⚠注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない
感電の原因になることがあります。

●ときどき換気を行う
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

●電源プラグの抜き差しは、プラグ部分を持って行う
コード(ケーブル)を引っ張ると、断線などで、発熱・発火の原因になることがあります。

●エアコンの上に花びんなど、水の入った容器を置かない
内部に水が浸入して感電や火災の原因になることがあります。

●移動時は、キャスターのストッパーのロックを解除する
転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

●お手入れのときは必ず運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く
感電やけがの原因になることがあります。

●使用時は、キャスターのストッパーをロックする
転倒などによりけがの原因になることがあります。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

●ドレンタンクの排水時タンクのとってはしっかり持つ
満水のドレンタンクの落下によりけがや水もれの原因になることがあります。

●ドレンタンクは必ず水を捨て、製品に取り付けて使用する（ドレンホース接続時はドレンタンクは不要です）
ドレンタンクがないと、水もれや感電の原因になることがあります。

●ドレンホースを接続した状態でエアコンを移動する場合は、ドレンホースがエアコンの移動のさまたげにならないようにしてから移動する
転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

●ドレンタンクは正しく取り付ける
逆向きに取り付けると水もれや感電の原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

●別売品の取付けは、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店または
ダイキンコンタクトセンターにご依頼ください。
（裏表紙参照）

●修理は、自分でしない
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

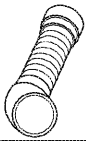
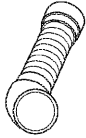
●アース工事を行う
アースが不完全な場合は、
感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・
電話のアース線に接続しないでください。

●漏電しゃ断器を取り付ける
100V機を乾燥した場所で使用する場合は
省略できます。
取り付けないと感電や火災の原因になります。

●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると
発熱・火災・故障の原因になります。

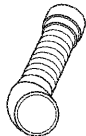
●冷媒もれ対策は、販売店に相談する
万一、冷媒がもれて限界濃度を超えると、
酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒がもれても
限界濃度を超えないように対策する必要が
あります。

⚠注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは
設置しない
万一、ガスがもれてユニットの周囲に溜まると、
発火の原因になることがあります。

●ドレンホースは、確実に排水するように施工する
不備があると、屋内に水もれし、
汚れや故障の原因になることがあります。

据付けについて

据付前に付属品を確認してください。

●SUASP1BS・SUASP1BT・SUASP1CS・SUASP1CT・SUBSP1BS・SUBSP1BT・SUBSP1CS・SUBSP1CTの場合

名　称	冷風吹出口	クランプ材	その他
個　数	1	3	各1
形　状			取扱説明書 保証書

●SUASSP1BS・SUASSP1BT・SUASSP1CS・SUASSP1CTの場合

名　称	冷風吹出口	排気ダクト	クランプ材	その他
個　数	1	1	3	各1
形　状				取扱説明書 保証書

●SUASP2AU・SUBSP2AU・SUASP2BU・SUBSP2BUの場合

名　称	冷風吹出口	ねじ	クランプ材	その他
個　数	2	10	1	各1
形　状				取扱説明書 保証書

●SUASP3AU・SUBSP3AUの場合

名　称	冷風吹出口	ねじ	クランプ材	その他
個　数	3	15	1	各1
形　状				取扱説明書 保証書

●SUASSP2A・SUASSP2Bの場合

名　称	クランプ材	その他
個　数	1	各1
形　状		取扱説明書 保証書

据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。
- ●調理場など蒸気の多いところ
- ●海浜地区など塩分の多いところ
- ●酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- ●温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- ●電圧変動の多いところ(定格電圧±10%以内)
- ●車両・船舶への搭載など
- ●電磁波を発生する機械のあるところ
- ●傾斜や凸凹のあるところ

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか？
エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ

●エアコンの吹出口近くに障害物がありませんか？
機能低下や運転音増大の原因になります。

●使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

お願い

●電気工事・※D種接地工事の施工には資格が必要です。
電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。
また、200V以上で使用するエアコンの電気工事は、必ず電気工事業として登録された据付工事店が行ってください。

※300V以下：D種接地工事
300Vを超える：C種接地工事

●電線などの選定

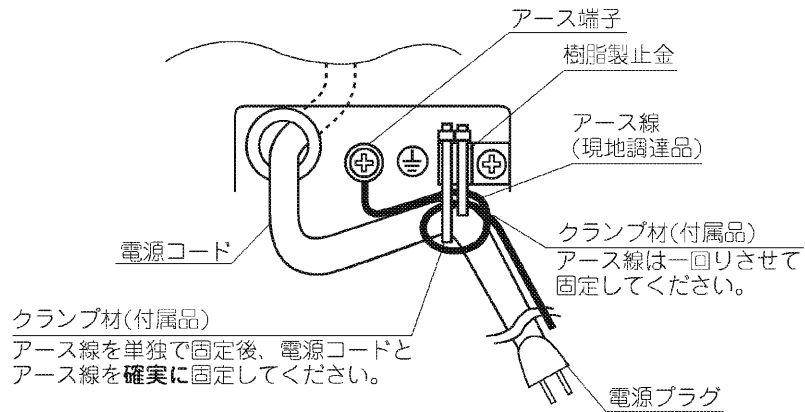
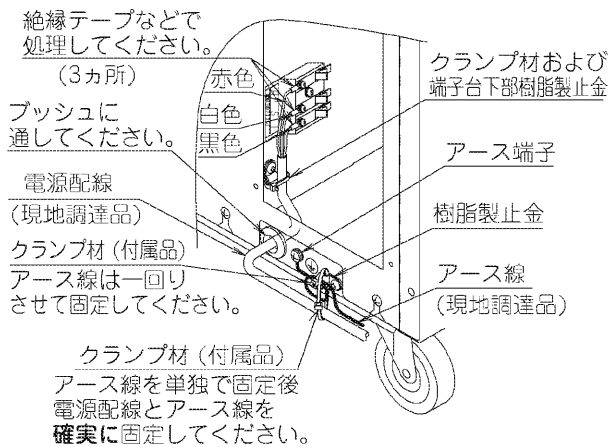
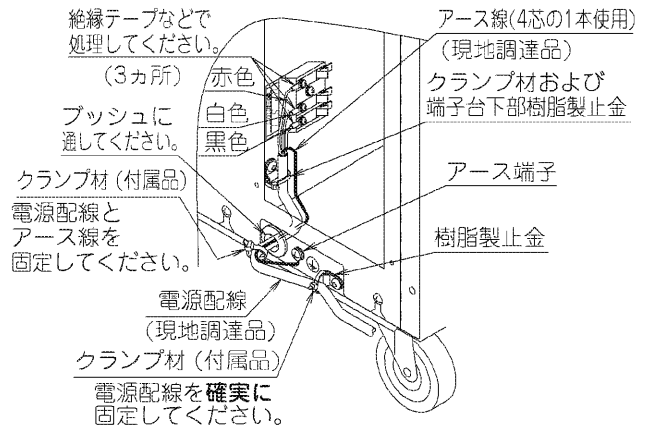
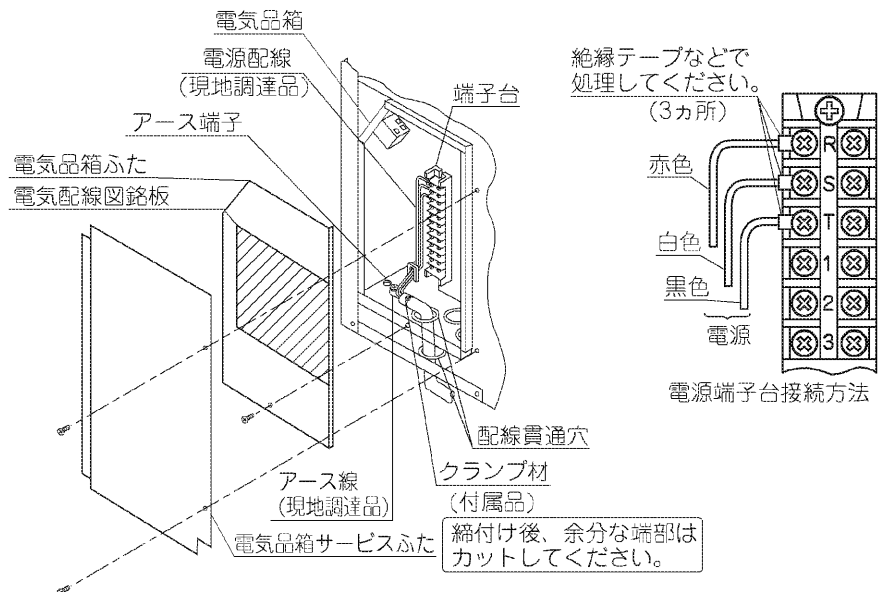
項目 ＼ 形名		SUASP1BS SUASSP1BS SUASP1CS SUASSP1CS SUBSP1BS SUBSP1CS	SUASP1BT SUASSP1BT SUASP1CT SUASSP1CT SUBSP1BT SUBSP1CT	SUASP2AU SUASSP2A SUBSP2AU SUASP2BU SUASSP2B SUBSP2BU	SUASP3AU SUBSP3AU
電源		(＊2)単相100V 50/60Hz	(＊11)三相200V 50/60Hz		
電源配線太さ(mm²)		2.0	2.0	2.0	2.0
こう長(＊1)(m)		(＊10)16	64	36	18
プラグ		本体に付属	250V 15A(引掛形20A)		250V 20A
コンセント		125V 15A	250V 15A(引掛形20A)		250V 20A
漏電しゃ断器(＊5)	定格電流(A)	15	10	15	20
	定格感度電流(mA)	30	30	30	30
	動作時間(s以下)	0.1	0.1	0.1	0.1
アース線(mm²)		2.0	2.0	2.0	2.0

＊1　電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
＊2　100V機は電源コードを付属しています。延長コードを使用する場合は、内線規程(JEAC8001)に基づき、電圧降下を考慮し、こう長および電源配線太さを算出してください。
＊3　漏電しゃ断器を取り付けてください。100V機を乾燥した場所で使用する場合は省略できます。
＊4　配線要領は内線規程(JEAC8001)に基づいて決められています。
＊5　漏電しゃ断器で地絡保護専用のものは、ヒューズ付負荷開閉器または配線用しゃ断器と組み合わせて使用してください。
漏電しゃ断器の定格容量は、ヒューズ容量または配線用しゃ断器の定格電流と同等以上の容量のものを使用してください。

項目 ＼ 形名		SUASP1BS SUASSP1BS SUASP1CS SUASSP1CS SUBSP1BS SUBSP1CS	SUASP1BT SUASSP1BT SUASP1CT SUASSP1CT SUBSP1BT SUBSP1CT	SUASP2AU SUASSP2A SUBSP2AU SUASP2BU SUASSP2B SUBSP2BU	SUASP3AU SUBSP3AU
ヒューズ付負荷開閉器使用の場合	開閉器容量(A)	15	15	15	30
	B種ヒューズ容量(A)	15	10	15	20
配線用しゃ断器使用の場合	定格容量(A)	15	10	15	20

＊6　配線用しゃ断器の定格しゃ断容量は、現地設備工事内容により、それぞれ異なります。
しゃ断器取付箇所における短絡電流を計算(推定)し、十分耐えるだけのしゃ断容量を有する適正なしゃ断器を選定してください。
その都度計算できない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701『低圧電路に使用する自動しゃ断器の必要なしゃ断容量』が発行されていますので現地設備工事内容に適合するしゃ断器を選定してください。
＊7　接地工事は必ず電源をしゃ断してから行ってください。
＊8　D種接地工事は必ず行ってください。漏電しゃ断器を取り付ける場合は、保護接地抵抗値が適用できます。
(保護接地抵抗値は、500Ω以下にしてください。)
＊9　据付後、配線工事のチェックを行い、誤配線がないことを確認してください。
＊10 付属の電源コードの長さを除いたこう長を示します。
＊11 電源配線は必ず正相で接続してください。本機は逆相保護回路を搭載しています。逆相保護回路作動時は、3線中2線を入れ替えてください。(200V機の場合)
＊12 電源はほかの機器類と併用しないでください。専用回路にて電気配線してください。
＊13 電線は継ぎ足しをしないでください。

●電源配線要領

−SUASP1BS・SUASSP1BS・SUASP1CS・SUASSP1CS・SUBSP1BS・SUBSP1CSの場合

−SUASP1BT・SUASSP1BT・SUASP1CT・SUASSP1CT・SUBSP1BT・SUBSP1CTの場合

−SUASSP2A・SUASP2AU・SUBSP2AU・SUASP3AU・SUBSP3AU・SUASSP2B・SUASP2BU・SUBSP2BUの場合

●端子ねじの締付けには、適正ドライバーを使用してください。
●端子ねじを締め付けすぎるとねじを破損する可能性があります。
●端子ねじの締付トルクは下表を参照してください。

＊締付トルク	
M4	1.18～1.44

（単位：N・m）

●**クランプ材は締付け後、余分な端部はカットしてください。**

●**エアコン専用の回路を使用してください。**

●**電源から本機への配線は、電気品箱サービスふたを外し、配線貫通穴より端子台に接続してください。※**

●**電気工事終了後、電気品箱の端子接続部にゆるみや外れがないことを再度確認してください。※**

※（SUASP1BT・SUASSP1BT・
SUASP1CT・SUASSP1CT・SUBSP1BT・SUBSP1CT
SUASP2AU・SUASP3AU・SUASSP2A・SUASP2BU・SUASSP2B
SUBSP2AU・SUBSP3AU・SUBSP2BU）の場合

●**コンセントは確実に差し込んでいますか？
また、電源コードや電源配線が断線していませんか？
圧縮機が焼損する原因になることがありますので、
必ず下記項目を実施してください。**

a. コンセントはロック式のものを使用してください。
b. 電源コードや電源配線は断線のおそれがないか定期点検をしてください。
詳細はお買上げの販売店にご相談ください。

注意

●**運転可能電圧は定格電圧の±10%以内です。**

（100V機の場合：90～110V
200V機の場合：180～220V
（始動時の電圧降下を含めた値））

この範囲をこえると正常に運転できなくなることがあります。

ドレンホースを接続する場合

●**ドレンホース接続可否一覧**

可	否
SUASP1BS SUASP1BT SUASP1CS SUASP1CT	SUASSP1BS・SUASSP1BT SUASSP1CS・SUASSP1CT SUBSP1BS・SUBSP1BT・SUBSP1CS・SUBSP1CT SUASSP2A・SUASSP2B SUASP2AU・SUASP3AU・SUASP2BU SUBSP2AU・SUBSP3AU・SUBSP2BU

**ドレンタンクを使用せずにドレンホースを接続する場合は、ドレン出口に直接ホースを接続してください。
（ドレンホースは現地調達品…推奨ホース内径15～17mm）**

●**ドレンホース接続時、ドレン出口を破損しないように注意してください。**
●**ドレンホース接続時はドレンタンクは不要となります。**
●**ドレンホースは通行などのさまたげにならないようにし、つまりやつぶれがなく確実に排水できることをご確認ください。**

①ドレンタンクを取り出してください。
②ドレン出口に直接ドレンホースを奥までしっかり押し込んでください。
（ドレンホースはドレンホース貫通用穴を通して機外に取り出してください。）

試運転について

電源工事が終了したら、必ず「運転のしかた（13~16 ページ参照）」にしたがって、機能の確認をしてください。

試運転で正常に運転できない場合は、「調子がおかしいときは（21,22 ページ参照）」の項目を確認し、お買上げの販売店にご連絡ください。

各部の名前と働き

SUASP1BS・SUASSP1BS・SUBSP1BS・SUBSP1CS
SUASP1BT・SUASSP1BT・SUBSP1BT・SUBSP1CT
SUASP1CS・SUASSP1CS・SUASP1CT
SUASSP1CTの場合

⚠注意

●運転中は移動しない
水もれや感電の原因になることがあります。

禁止

●ドレンタンクは正しく取り付ける
逆向きに取り付けると水もれや感電の原因になることがあります。

冷風吹出口

標準吹出口
（SUASP1BS・SUASP1BT
SUBSP1BS・SUBSP1BT
SUBSP1CS・SUBSP1CT）

自動首振吹出口
（SUASSP1BS・SUASSP1BT）

マイナスイオン発生部
（SUASSP1BS
SUASSP1BT
SUASSP1CS
SUASSP1CT）マイナスイオンを発生させます。

凝縮器側排気口
（SUASP1BS・SUASP1BT
SUASP1CS・SUASP1CT
SUBSP1BS・SUBSP1BT
SUBSP1CS・SUBSP1CT）

電源コード引掛具

操作パネル

運転操作ツマミ

風量切換スイッチ

運転　停止　送風　冷房　風量調節　満水　弱　強

SUASSP1BS
SUASSP1BT
SUASSP1CS
SUASSP1CT
の場合

エアフィルター

ドレンタンク
容量：約5リットル

のぞき窓
ドレンタンクの水位が確認できます。

キャスター
前輪：固定輪
（SUASP1CS・SUASP1CT
SUASSP1CS・SUASSP1CT
のみ自由輪（ストッパー付））
後輪：自由輪（ストッパー付）

自由輪（ストッパー付）の状態
ロック状態（エアコン使用時）

ロック解除状態（移動時）

ストッパーをロックしないで運転すると満水検知が誤って働く場合があります。
※SUASSP1BS・SUASSP1BT・
SUASSP1CS・SUASSP1CT・
SUBSP1BS・SUBSP1BT・
SUBSP1CS・SUBSP1CTのみ

右側面

アース端子
万一の感電・火災防止のため室内ユニットから大地へ電気を逃がす線（アース線）を接続する端子です。

電源コード※

電源プラグ※

※SUASP1BS
SUASP1CS
SUBSP1BS
SUASSP1BS
SUASSP1CS
SUBSP1CS　のみ

SUASSP2A・SUASSP2B
SUASP2AU・SUBSP2AU
SUASP2BU・SUBSP2BU
SUASP3AU・SUBSP3AUの場合

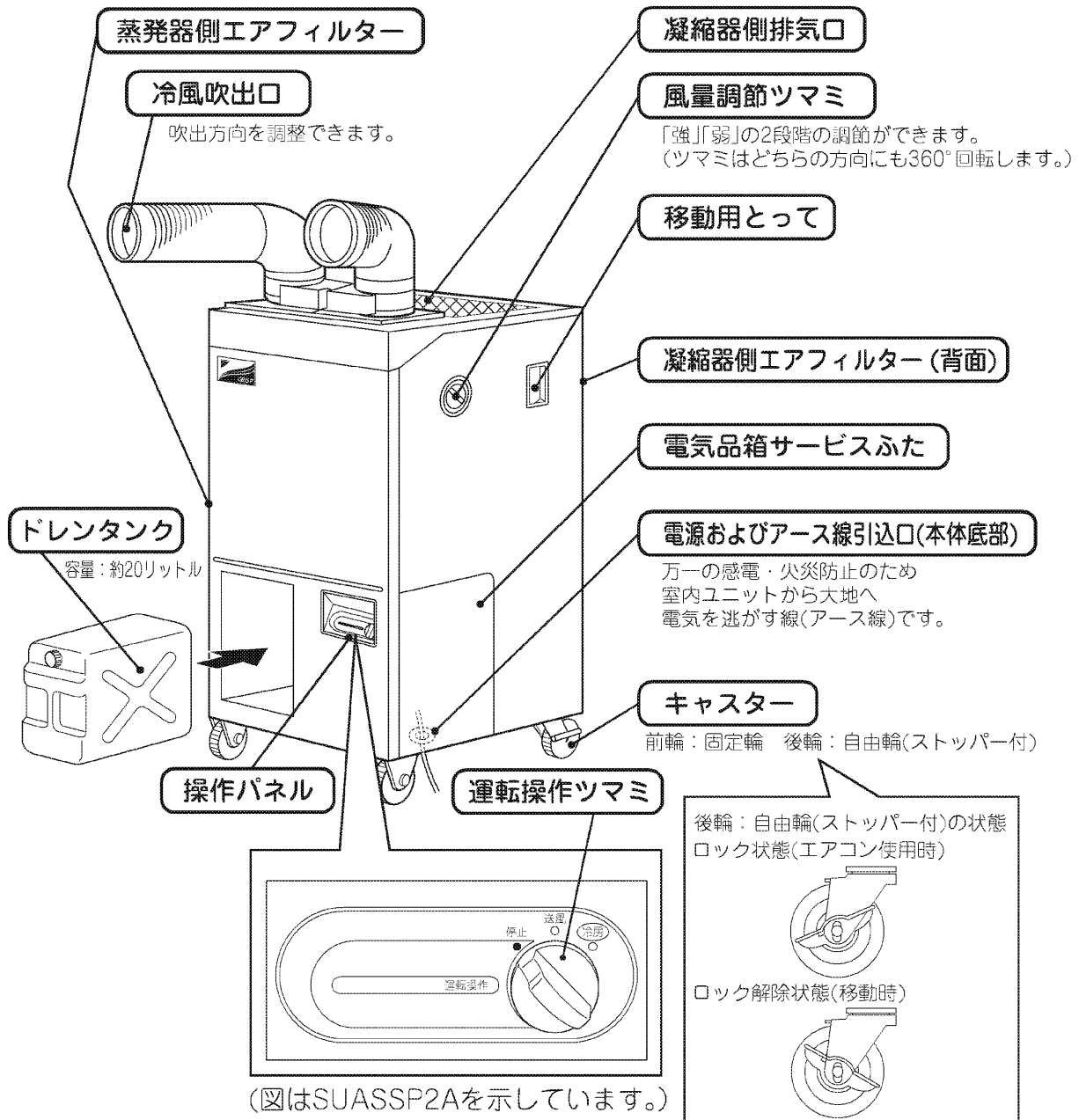
⚠注意

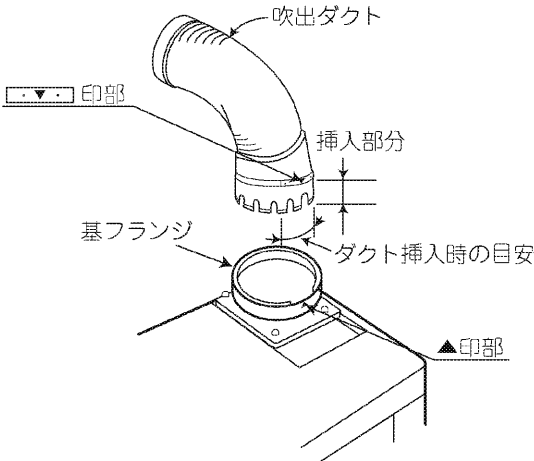
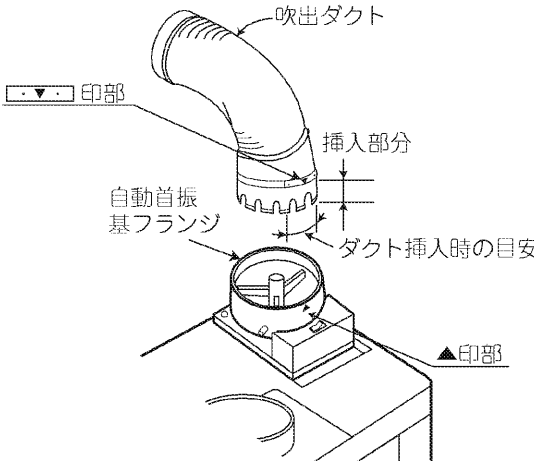
●運転中は移動しない

水もれや感電の原因になることがあります。

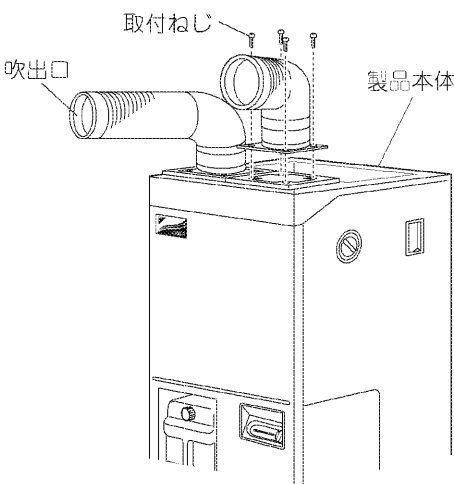
●ドレンタンクは正しく取り付ける

逆向きに取り付けると水もれや感電の原因になることがあります。

（図はSUASSP2Aを示しています。）

運転準備

1 キャスター(自由輪)のストッパーをロック状態にします。

(ロック時の状態は 9,10 ページを参照してください。)

2 吹出ダクトを取り付けます。

(SUASSP2A・SUASSP2Bの吹出ダクトは、工場出荷時より取り付けた状態で出荷されます。
その他の機種は製品に付属しています。)

お願い
●吹出ダクト取付時、挿入部分を持たないでください。
必ず、それ以外のダクト部を持って作業してください。
指をはさみ、ケガの原因になることがあります。

SUASP1BS・SUASP1BT SUASP1CS・SUASP1CT SUBSP1BS・SUBSP1BT SUBSP1CS・SUBSP1CT の場合	SUASSP1BS・SUASSP1BT SUASSP1CS・SUASSP1CT の場合
吹出ダクトの銘板(・▼・印部)の・印から・印の範囲を目安として、基フランジの▲印に合わせて上から真すぐに押し込んでください。 〔カチッと音がするまで確実に押し込んでください。〕	吹出ダクトの銘板(・▼・印部)の・印から・印の範囲を目安として、自動首振基フランジの▲印に合わせて上から真すぐに押し込んでください。 〔カチッと音がするまで確実に押し込んでください。〕

SUASP2AU・SUBSP2AU
SUASP2BU・SUBSP2BU の場合
SUASP3AU・SUBSP3AU

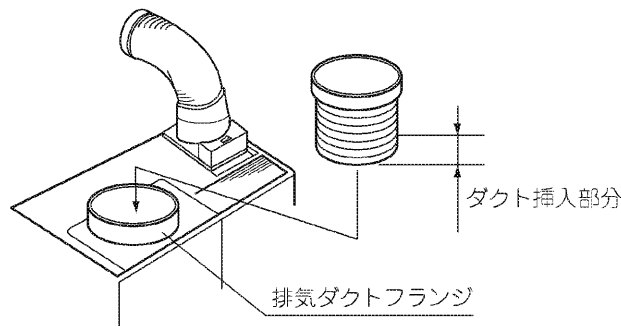
箱内には次の付属品が入っています。

付属品名＼機種名	SUASP2AU SUBSP2AU SUASP2BU SUBSP2BU	SUASP3AU SUBSP3AU
吹　出　口	2個	3個
吹出口取付用ねじ	10個	15個

吹出口は右図のように取り付けてください。
(図はSUASP2AUを示しています。)

3 排気ダクトを取り付けます。－SUASSP1BS・SUASSP1BT SUASSP1CS・SUASSP1CTのみ

（製品に付属しています。）

排気ダクトは、伸縮自在で上または横方向に吹き出すことができます。
（排気ダクトフランジ底面にダクトが当たるまで確実に押し込んでください。）

延長ダクトを取り付けない場合は5の作業を行ってください。

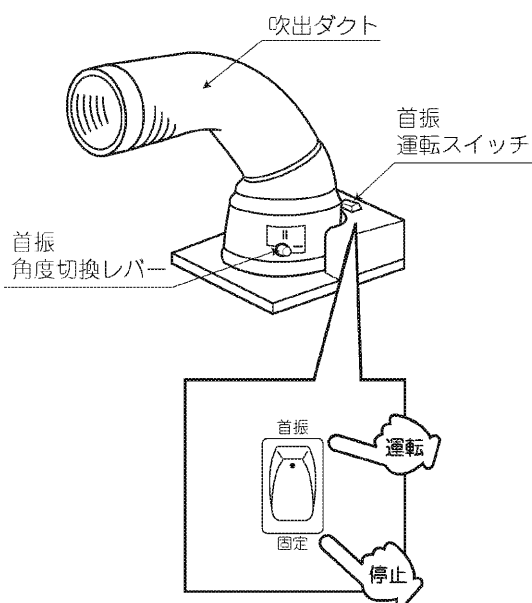
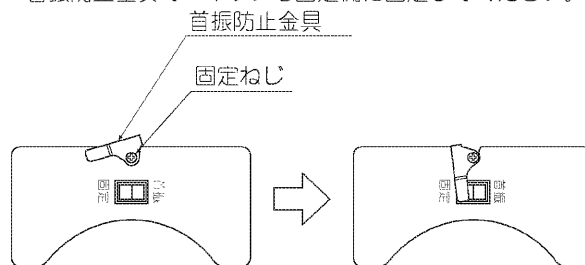
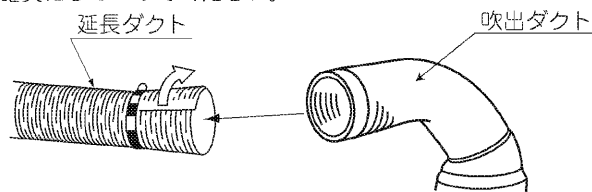
4 延長ダクトを取り付けます。－SUASSP1BS・SUASSP1BT SUASSP1CS・SUASSP1CTのみ

（別売品です。）

（その他の機種の場合は、別売品に付属の取扱説明書に記載しています。）

注意

●取付作業の前に、必ず電源をしゃ断してください。
●延長ダクトを取り付けて首振運転はできません。
延長ダクトを取り付けるときは、必ず首振運転スイッチを固定側に固定してください。
首振側で運転し続けると製品が故障する原因になります。

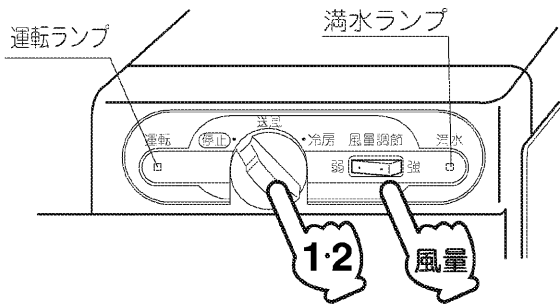
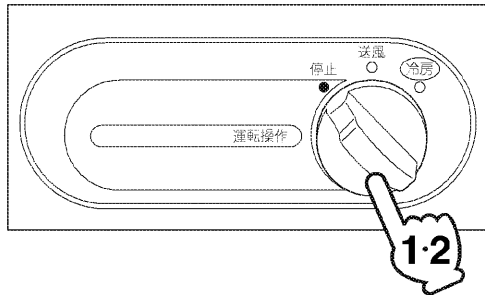
①首振運転スイッチが固定側に固定していることを確認してください。

②首振側に固定されている場合は、固定ねじをゆるめて、首振防止金具でスイッチを固定側に固定してください。

③延長ダクトの接続は、延長ダクトを右にねじってダクト径を拡大し、吹出ダクトに差し込んでください。差し込み後、延長ダクトに付属の止めバンドで確実にしめつけてください。

5 エアフィルター・ドレンタンクがきちんと収まっていることを確認します。

6 アース線が確実に接続されているか確認します。

7 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

運転について

冷房・送風運転のしかた

SUASP1BS・SUASP1BT
SUASSP1BS・SUASSP1BT
SUASP1CS・SUASP1CT
SUASSP1CS・SUASSP1CT
SUBSP1BS・SUBSP1BT
SUBSP1CS・SUBSP1CT
の場合

SUASSP2A・SUASSP2B
SUASP2AU・SUBSP2AU
SUASP2BU・SUBSP2BU
SUASP3AU・SUBSP3AU
の場合

1 **運転操作ツマミ**を**送風**にします。

運転ランプ（赤）が点灯します。
（圧縮機は運転していません。）

- 運転ランプはSUASP1BS・SUASP1BT・SUASSP1BS・SUASSP1BT・SUASP1CS・SUASP1CT・SUASSP1CS・SUASSP1CT・SUBSP1BS・SUBSP1BT・SUBSP1CS・SUBSP1CTのみにあります。
- 満水ランプはSUASSP1BS・SUASSP1BT・SUASSP1CS・SUASSP1CT・SUBSP1BS・SUBSP1BT・SUBSP1CS・SUBSP1CTのみにあります。

●送風運転の操作はここまでです。

2 **運転操作ツマミ**を**冷房**にします。

冷房運転を開始します。
（圧縮機が運転を始めます。）

運転の内容と働き

SUASP1BS・SUASP1BT・SUASP1CS・SUASP1CTの場合

●満水ランプはありません。

風量 **風量切換スイッチ**または
風量調節ツマミにより
「強」「弱」の選択ができます。

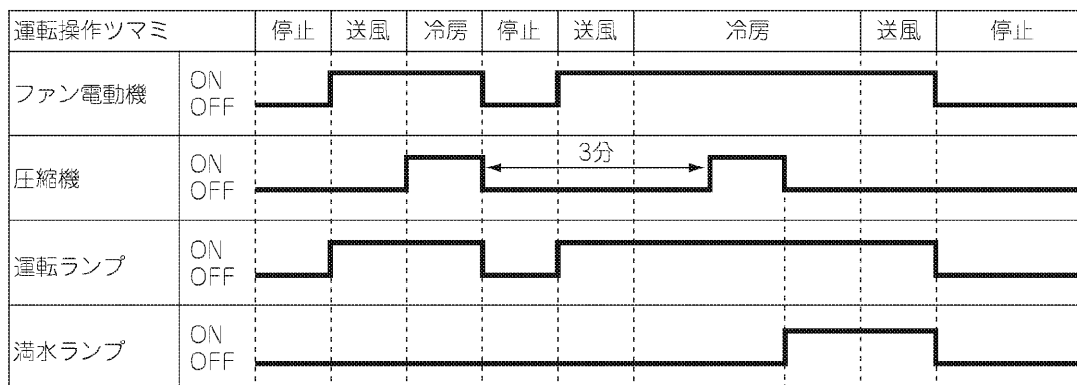
●風量切換スイッチは 9 ページ参照
風量調節ツマミは 10 ページ参照

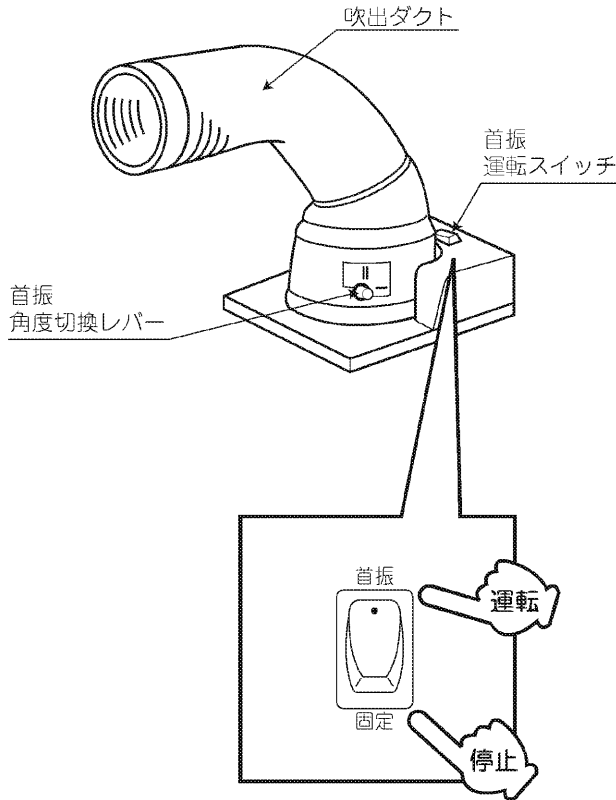
停止 **運転操作ツマミ**を**停止**にします。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。
（圧縮機も停止します。）

連続運転可能範囲

機　種　名	周囲温度
SUASSP1BS・SUASSP1BT SUASP1BS・SUASP1BT SUASSP1CS・SUASSP1CT SUASP1CS・SUASP1CT SUASSP2A・SUASSP2B SUASP2AU・SUASP3AU SUASP2BU	25～45℃
SUBSP1BS・SUBSP1BT SUBSP1CS・SUBSP1CT SUBSP2AU・SUBSP3AU SUBSP2BU	10～45℃

- **200V三相機の場合、操作後運転しないときは、逆相保護装置が作動していることがあります。3線中2線を入れ替えてください。回らないからといって絶対に電磁開閉器を手で操作しないでください。手で操作しますと圧縮機が故障します。**
  （SUASSP1BS・SUASP1BS・SUBSP1BS・SUBSP1CS SUASSP1CS・SUASP1CSを除く）
- **運転中に停電したときは、停電復帰後、運転しません。運転操作ツマミを停止にし、復帰後再運転してください。**
  （SUASSP1BS・SUASSP1BT・SUBSP1BS・SUBSP1BT・SUBSP1CS・SUBSP1CT・SUASSP1CS・SUASSP1CTは停電復帰後そのままで運転開始します。）

SUASSP1BS・SUASSP1BT・SUASSP1CS・SUASSP1CT・SUBSP1BS・SUBSP1BT・SUBSP1CS・SUBSP1CTの場合

※1 ドレンタンク満水時は、満水ランプ（赤）が点灯し送風運転となります。（圧縮機は運転しません。）
運転操作ツマミを停止にしてからドレンタンクの水を排水し、ドレンタンクを収納後、再度冷房運転にしてください。満水ランプが点灯した場合、1度運転操作ツマミを停止にしないと運転しません。

自動首振運転のしかた － SUASSP1BS・SUASSP1BT SUASSP1CS・SUASSP1CT SUASSP2A・SUASSP2B のみ

運転

首振運転スイッチを**首振**にします。

首振運転を開始します。

●本体側の運転操作ツマミが「停止」の位置では動きません。
（SUASSP2A・SUASSP2B）

●操作パネルの運転ランプが点灯していないと動きません。
（SUASSP1BS・SUASSP1BT
SUASSP1CS・SUASSP1CT）

停止

首振運転スイッチを**固定**にします。

首振運転を停止します。

ダクト回転可能範囲

自動首振範囲		手動首振範囲
SUASSP1BS・SUASSP1BT SUASSP1CS・SUASSP1CT	SUASSP2A SUASSP2B	SUASP1BS・SUASP1BT SUASP1CS・SUASP1CT
70° 自動首振 70° 自動首振 自由首振 130° 200° 首振可能範囲	自動首振 70° 自由首振 130° 200° 首振可能範囲 70° 自動首振 こちらのゾーンも左側と同じスイングができます。	200° 首振可能範囲

●吹出ダクトは自由首振範囲内でご希望の位置を選んでください。

●自動首振範囲は電動にて動く範囲です。